

# WDRAC後援要綱

## 第1 趣旨

この要綱は、一般社団法人戦災復興支援センターWar Disaster Reconstruction Assistance Center(WDRAC) (以下「WDRAC」という。) 以外の個人及び団体が主催する事業について、WDRACが後援（WDRACの名称をもって、当該事業に賛同することをいう。以下同じ。）をする場合の基準及び手続き等について、必要な事項を定めるものとする。

## 第2 後援の基準

1. WDRACが後援をすることができる事業は、次に掲げるとおりとする。
  - (1) 事業を行う個人及び団体は、次のいずれかに該当するものであること。
    - ア 株式会社、合同会社などの営利団体
    - イ 社団法人、財団法人その他の非営利団体ウ ア及びイに掲げるもののほか、WDRACが認める個人及び団体
  - (2) 事業は、次のいずれにも該当すること。
    - ア WDRACの活動推進に寄与すると認められるものであること。
    - イ 公序良俗に反するものでなく、その他社会的非難を受けるおそれがないこと。
    - ウ 宗教的又は政治的色彩を有していないこと。
    - エ 私的な利益を目的としないこと。
    - オ 事業が広く一般に開放されるものであること。
2. 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する個人及び団体には、後援をしないものとする。
  - (1) 第7第1項第1号の規定により取消しを受けたことのある個人及び団体
  - (2) 第7第3項の規定に違反したことのある個人及び団体
  - (3) 第8に規定する実施報告を行わなかったことのある個人及び団体
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、後援を行うことが適当でないとWDRACが認める個人及び団体

## 第3 後援の申請

WDRACの後援を受けようとする個人及び団体は、原則として当該事業の開始の日の1年前から30日前までの間に後援申請書に必要な書類を添えて、WDRACに提出しなければならない。

## 第4 後援の決定等

1. 第3の申請があったときは、WDRACは速やかに後援の可否を決定し、後援決定通知書又は後援申請の結果についてのメールにより、当該申請者に通知する。
2. WDRACは、後援を決定した事業（以下「後援事業」という。）に要する経費を負担しないものとする。
3. 後援事業において生じた損害については、WDRACはその責めを負わないものとする。

## 第5 後援期間

後援の期間は、第4第1項の規定により決定を受けた日から当該決定を受けた後援事業終了の日までとする。

## 第6 変更の承認

第4第1項の規定により後援の決定を受けた個人及び団体（以下「後援者」という。）は、後援事業の計画を変更し、又は廃止しようとするときは、後援申請事項変更申請書にWDRACが必要と認める書類を添えてWDRACに申請し、その承認を受けなければならない。

## 第7 後援の取消し

1. WDRACは、後援者が、次の各号のいずれかに該当するときは、後援を取り消すことができる。
  - (1) 虚偽の申請により後援の決定を受けたとき。
  - (2) 後援事業の計画変更等により、第2第1項の基準に該当しなくなったとき。
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、WDRACが特に必要があると認めるとき。
2. WDRACは、前項の規定により後援を取り消したときは、後援決定の取消しについての通知書により、当該後援者に通知する。
3. 後援の取消しによって生じた損害については、WDRACはその責めを負わない。
4. 後援の取消しを受けた個人及び団体は、事業の実施に当たり、後援事業でないことを明らかにしなければならない。

## 第8 実施報告

後援者は、後援事業を終了したときは、当該後援事業が終了した日から90日以内に、後援事業実施報告書に関係書類を添えて、WDRACに提出しなければならない。

## 第9 様式

後援事務の取扱いに関し必要な様式は、WDRACが別に定める。

## 第10 補則

この要綱に定めるもののほか、後援事務の取扱いに関し必要な事項は、WDRACが別に定める。

附 則 この要綱は、2022年5月1日から施行する。